

豊橋改称150年

豊橋をものがたる100点

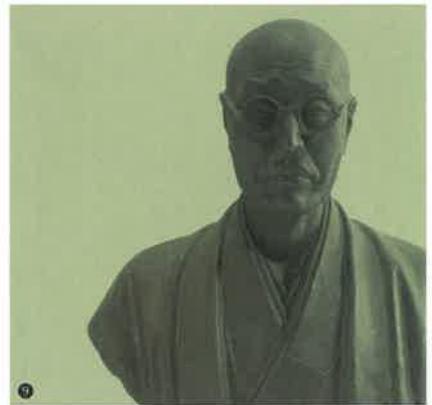
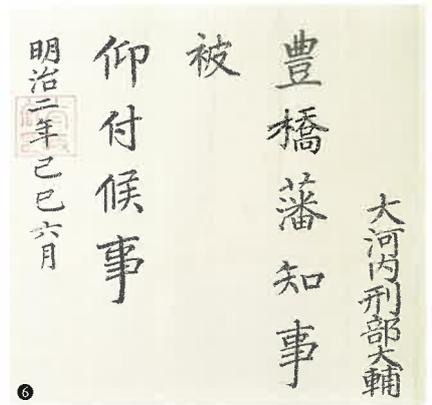
2019年7月20日(土)▶9月1日(日) 9:00▶17:00

(本陣資料館の入館は16:30まで)

休館▶月曜日(8月12日[月・祝]は開館)

会場▶豊橋市美術博物館(2階常設展示室1▶3)

▶豊橋市二川宿本陣資料館(企画展示室)



豊橋市美術博物館

豊橋市今橋町3-1(豊橋公園内)

0532-51-2882

入館▶無料

豊橋市二川宿本陣資料館

(旧東海道沿い)豊橋市二川町字中町65

0532-41-8580

入館▶一般400円(320円)

▶小中高生・市内の70歳以上100円(80円)

写真▶①包装紙「吉田あかこ」・明治・豊橋市美術博物館蔵A▶②スタンドグラス・昭和戦前・豊橋市公会堂蔵B▶③豊橋市制100周年記念「トヨッキー人形」・平成18年・豊橋市美術博物館蔵B▶④泥台式網掛行囊・明治28年・豊橋市民俗資料収蔵室蔵A▶⑤自動地球儀時計雷風形・明治30年代・石川辰彦氏蔵A▶⑥豊橋藩知事任命書・明治2年・個人蔵A▶⑦デルビル磁石式甲号電話機・大正~昭和・豊橋市民俗資料収蔵室蔵A▶⑧写真「町村合併パレード」・昭和30年・豊橋市中央図書館蔵B▶⑨初代豊橋市長大口喜六胸像・昭和戦後・豊橋市美術博物館蔵B▶Aは美術博物館、Bは二川宿本陣資料館で展示します。

▶()内は30人以上の団体料金および前売料金。豊橋市内の70歳以上の方は団体のみ▶前売券は購入した日の翌日から使用でき、本陣資料館・美術博物館・市役所じょうほうひろば・市民文化会館で販売しています。▶豊橋市内の70歳以上の方は身分証明書をご提示ください。▶身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料です。

このチラシを
ご持参の方は本展
資料館に団体料金で入館できます。

豊橋中心部は、古代には伊勢神宮領の飽海神戸があったところと推定され、中世には今橋、近世には吉田と呼ばれてきました。明治2年(1869)に吉田藩が豊橋藩と変わって以来、今年「豊橋」という名称が誕生して150年目にあたります。その名は、町の北を流れる豊川に架かる橋の名からつけられました。

明治以降、豊橋町、豊橋市が成立し、周辺部の合併を繰り返しながら「豊橋」の範囲は広がっていきます。その間には国や世界の情勢に左右されながらも、豊橋という地域で生活をおくった多くの人々がいました。彼らの生活に影響した資料や、彼らが生み出し使用したものたちには、明治以降の豊橋という地域性やどってきた時代の特徴が隠されていると思われます。本展では近代の豊橋をものがたる100点のものたちを時代順に並べることにより150年の年代記を展覧します。

本展は、2館の共同企画として、美術博物館では明治・大正、本陣資料館では昭和・平成に関する資料を各館50点ずつ展示します。

ギャラリートークのご案内

豊橋市美術博物館▷7/20(土)・8/10(土) 14:00
豊橋市二川宿本陣資料館▷7/21(日)・8/18(日) 14:00
講師▷各館担当学芸員

写真▷ガラス乾板「豊橋(江戸時代以来の反り橋)」 深井清華撮影か・明治初期・個人蔵

夏休み本陣体験講座のご案内

①「江戸時代のエコロジー」

7月20日(土) 10:00▷11:30

参加料▷700円(風呂敷代、資料館見学は入館料別途)

7月7日(日)10:00より本陣資料館へ申込(20名)

講師▷ふろしき風の会愛知代表伊藤わかよさん

江戸時代のリサイクルや和のエコバック「風呂敷」の包み方を学ぼう。

どなたでも参加できます(小学生以下は保護者同伴)。

◎こちらにも参加して、夏休みの自由研究に!

「ごみはどこに行くの?夏休みごみ処理施設見学会」

7月30日(火)・8月2日(金)・8月20日(火) 各日13:00▷17:00

参加料▷無料

7月1日(月)より豊橋市役所環境政策課へ(TEL0532-51-2417・各日25名)

豊橋市内在住の方ならどなたでも参加できます(小学生以下は保護者同伴)

②「江戸時代の旅体験」

8月3日(土) 10:00▷12:00 13:30▷15:30

参加料▷100円(入館料別途)

7月9日(火)10:00より本陣資料館へ申込(各回5組)

旅日記帳を作ったり、旅の道具や旅衣装を体験して、江戸時代の旅について学ぼう。

小学生とその保護者が対象です。

写真▷写真「豊橋(明治12年豊橋に架け替え後)」 深井清華撮影か・明治前期・個人蔵